

叙勲

受章おめでとぅございます

瑞宝単光章

(裁判所業務功勞)



あまがい 天谷 房枝さん

昭和43年宇都宮地方裁判所入所。裁判所技官となり退職までの41年間電話交換業務に従事する。正確、丁寧な対応を通して公正、迅速な裁判の実現を裏方かつ最前線を支えてきた。裁判所の交換が扱う事件は民事、刑事、家事および少年と広範囲であり、その内容を自己研鑽することも怠りなかった。平成21年退職。賞歴/最高裁判所長官表彰、宇都宮地方裁判所長表彰 並木町在住 65歳

生涯スポーツ功勞者表彰を受賞



10月10日(金)、東京都で開催された平成26年度生涯スポーツ功勞者および生涯スポーツ優良団体表彰式において、真岡市野球連盟副会長の野沢達さん(物井)が、文部科学省より生涯スポーツ功勞者として表彰を受けました。野沢さんは、旧二宮町の学童野球の設立に尽力すると共に、昭和52年から指導者への道へと進み、コットンウェイ硬式野球倶楽部を設立するなど、長年にわたり青少年の健全育成と生涯スポーツの発展に貢献されました。この度は、その功績が認められ受賞となりました。おめでとぅございます。

第61回真岡市教育祭

11月18日(火)、第61回真岡市教育祭を開催し、優秀児童生徒などの表彰を行いました。受賞された方は次の通りです。(敬称略)

優秀児童生徒部門

優秀児童(小学6年生)

- 真岡小 久保崇波 久保野琢哉 丸岡な子 入江那奈 瀧田紗矢 増山陽向 小貴友李 近藤那樹 下村夏音 柳岡風紗 小坂茉莉 早川幸花 櫻井竹彦 羽石匡徳 天川真由香 仁平若那 永井有紗 加藤ひな 笠倉恭輔 海老原照紗 法師人祐衣 武田唯希 野澤華笑 栃本菜々香 藤原佳大 船橋駿友

PTA優秀会員(4年以上)

- 真岡西小 手塚徹 村田さか 戸上由貴 大内西小 秋山英 大内中 磯島克 山前中 櫛毛洋 中村中 羽田俊 鶴見和

文化協会会長等(8年以上)

- 文化協会伝統部会長 柴山時男

体育協会会長等(8年以上)

- 体育協会副会長 仁平清 体育協会専門部長 壁屋行雄

女性団体会長等(8年以上)

- 真岡地区婦人会会長 平岡定子 大内地区婦人会会長 塩野純子 中村地区婦人会会長 川又照子 副会長 野澤京

スカウト指導者(10年以上)

- ボイスが真岡第1団 久保正 団委員長 池上正美 副委員長 荒井真由美 齋藤幸代 武田洋次

篤行者部門

- 市内小中学校全校への寄付 株式会社神戸製鋼所 JAはが野いちご部会 真岡市民会館への寄付 真岡西ロータリークラブ

学校教育功勞者部門

学校医(10年以上)

- 学校医 三戸英章 田中英夫 小川松聡 飯野さやか 本多さやか 伊藤譲治

学校歯科医(10年以上)

- 学校歯科医 菊地英世

学校薬剤師(10年以上)

- 学校薬剤師 松本智子 北川芳則

社会教育功勞者部門

スポーツ推進委員(10年以上)

- スポーツ推進委員 高崎弘子 国府田厚志 落合欣也

少年指導センター指導員(10年以上)

- 指導員 森セイ子 池葉親

地域公民館長(7年以上)

- 西田井駅前公民館長 大塚哲雄 田町公民館長 福田陽三 東光寺公民館長 池田敏 田町第一公民館長 高山久恵 三ツ谷公民館長 高山良作

優秀生徒(中学3年生)

- 真岡中 吉沢知紘 小菅玲奈 小稲見全紀 稲垣穂南 佐々木柊人 渡邊樹人 彼ノ矢蓮 久保果蓮 中澤颯太 歌川莉那 佐藤太一 島井美緒 大石元輝 富山晋太郎 大塚玲奈 飯野々子 堀木美優 大鈴見優朱 鶴沢野航 藤上野希 橋本愛理 小倉輝之 井川あかり

各種活動優秀児童生徒

- 第54回空手道系東会全国選手権大会小学3年生女子組手の部優勝 長田小3年 亀森瑞貴 第54回全国中学校水泳競技大会女子200m個人メドレー第2位 真岡中2年 笹原世玲菜



▲小学生受賞者



▲中学生受賞者



▲一般受賞者

第20回全国報徳サミット真岡市大会開催

11月28日(金)・29日(土)、第20回全国報徳サミット真岡市大会が開催されました。

28日は、尊徳翁ゆかりの名所を巡る「二宮尊徳廻村ウォークラリー」が行われ、市民や小学生など約200人が参加しました。また、サミット運営主体である「全国報徳研究市町村協議会」の総会が行われ、今回の全国報徳サミット真岡市大会を契機に、参加17市町村と災害応急対策活動の相互応援に関する協定を締結し、災害発生時に相互に連携して応援できる体制を構築しました。

二日目の29日は、会場となった市民会館大ホールでメイン大会が開かれ、尊徳翁にゆかりのある17市町村の首長や関係者、報徳精神を敬愛する一般参加者など約1千人が集いました。サミットでは、国士舘大学阿部昭名誉教授による基調講演や、真岡ミュージカルによる舞台、真岡北陵高校生による「報徳田での米づくり」体験発表が行われ、来場者は興味深い様子で見入っていました。

そして、参加市町村によるパネルディスカッションでは、各市町村が報徳仕法をいかしたまちづくりへの取り組みを紹介しました。最後に、「報徳仕法をいかした、ひとつづくり・まちづくり」をこれからのまちづくりの生かすための大会宣言を決議し、閉会しました。

